

公益財団法人茨城県看護教育財団

[法人の概要]

平成26年7月1日現在

代表者名	理事長 前場 文夫 (非常勤)	県所管部課	保健福祉部医療対策課	
所在地	結城市大字結城1211番地7	電話番号	0296-33-1922	
ホームページURL	http://yukinu.or.jp/zaidan/newpage1.htm	E-mailアドレス	yukinu@yukinu.or.jp	
資本金(基本財産)	1,000,000	千円	設立年月日	平成3年6月11日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	750,000	75.0%
	2	結城市	230,000	23.0%
	3	筑西広域市町村圏事務組合	20,000	2.0%
	4			
	5			
その他				
設立目的	地域医療のために必要な看護職員の養成確保と資質の向上を図り、もって公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	内容	
事業1	看護師の養成	75,983	77,132	80,456	結城看護専門学校の運営による看護師の養成
	全体事業に占める割合	70.9%	74.5%	66.5%	
事業2	看護師の研修	98	40	38	県西地域における看護職員資質向上のための研修会開催
	全体事業に占める割合	0.1%	0.0%	0.0%	
事業3	県西地域看護職員再就業支援事業			12,882	看護師の再就業を促進するために、実践能力を高める①講義研修, ②実務研修, ③試用研修といった研修事業の受託
	全体事業に占める割合	0.0%	0.0%	10.7%	
その他事業	事業1~3以外	31,026	26,410	27,527	減価償却にかかる費用
	全体事業に占める割合	29.0%	25.5%	22.8%	
全体事業	107,107	103,582	120,903	指定管理者	
全体割合	100.0%	100.0%	100.0%		

< 公益財団法人茨城県看護教育財団 から県民のみなさまへ >

当財団は、県内、主に県西地域の看護職員の確保と資質の向上のため、茨城県結城看護専門学校の運営及び地域の看護職員の研修事業を行っております。今般、高齢化の進行や医療技術の高度化等を背景に看護職員の需要が高まる中、その養成確保を担っている当財団の役割はますます重要になってきております。

このため、平成25年度から県の受託事業として、離職後に県西地域への就業を希望する看護職員(潜在看護師)に対し、再就業のための研修を実施するなど、看護職員の確保と定着に力を注いでいるところです。

今後も引き続き、財団の使命である質の高い看護職員の養成確保を一層推進してまいりますので、県民の皆様の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平成27年2月 理事長 前場 文夫

[経営状況] 公益財団法人茨城県看護教育財団 (単位:千円)

区分		平成23年度	平成24年度	平成25年度	増減数	増減理由
正味財産増減計算書	経常収益	101,639	104,333	115,746	11,413	
	基本財産運用益	17,000	17,000	17,000	0	
	事業収益	65,453	67,887	79,128	11,241	県受託事業収入の増
	受取補助金等	18,502	18,690	19,040	350	
	その他収益	684	756	578	△ 178	
	経常費用	107,107	103,582	120,903	17,321	
	事業費	101,503	103,109	120,192	17,083	賞与引当金繰入及び実習指導教員の増員
	管理費	5,604	473	711	238	
	うち役員人件費	324	120	182	62	
	うち職員人件費	42,577	40,961	42,592	1,631	
	評価損益等	0	0	0	0	
	経常増減額	△ 5,468	751	△ 5,157	△ 5,908	県受託事業費用の増
	経常外収益	0	6,915	0	△ 6,915	修繕引当金戻入・固定資産受増益
	経常外費用	0	0	154,762	154,762	土地減損損失
経常外増減額	0	6,915	△ 154,762	△ 161,677		
一般正味財産増減額	△ 5,468	7,666	△ 159,919	△ 167,585		
指定正味財産増減額	0	0	0	0		
正味財産期末残高	1,803,218	1,810,884	1,650,965	△ 159,919		
貸借対照表	資産合計	1,809,099	1,813,959	1,668,627	△ 145,332	
	流動資産	82,568	90,625	108,379	17,754	普通預金の増
	固定資産	1,726,531	1,723,334	1,560,248	△ 163,086	土地減損損失
	負債合計	5,881	3,075	17,662	14,587	
	流動負債	881	3,075	17,662	14,587	未払金・預り金・賞与引当金の増
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	5,000	0	0	0	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
正味財産合計	1,803,218	1,810,884	1,650,965	△ 159,919		
基本財産充当額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0		
県財政関与状況	補助金	18,502	18,690	19,040	350	
	委託料	0	0	12,882	12,882	県西地域看護職員再就業支援事業
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出捐金等)	0	0	0	0	
	合計	18,502	18,690	31,922	13,232	
	財政的関与の割合(%)	18.2%	17.9%	27.6%	9.7	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
借入金残高(期末)	0	0	0	0		
合計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式等	平成23年度	平成24年度	平成25年度	増減P	備考
公益目的事業比率	認定法第15条に定める率			98.0%		
管理費比率	管理費/経常費用	5.2%	0.5%	0.6%	0.1	
人件費比率	人件費/経常費用	40.1%	39.7%	35.4%	△ 4.3	
自己収益比率	自己収益額/経常収益	65.1%	65.8%	57.7%	△ 8.1	
流動比率	流動資産/流動負債	9372.1%	2947.2%	613.6%	△ 2333.5	
借入金比率	借入金残高/負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	

[組織]

7月1日現在の人数		平成24年		平成25年		平成26年		増減数	増減理由	
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB			
役員	常勤理事・監事	1	0	1	0	1	0	0		
	非常勤理事・監事	10	4	10	4	10	4	0		
	計	11	4	11	4	11	4	0		
職員	管理職	2	1	2	1	2	1	0		
	一般職	9	3	9	4	10	4	1		
	嘱託・臨時職員等	2		7		7		0		
	計	13	4	18	5	19	5	1		
当期	プロパー職員平均勤続年数	0.3年	常勤職員(嘱託・臨時職員を除く)の年齢構成						平均年齢	常勤役員平均報酬(年額)
			~20代	30代	40代	50代	60代	合計		千円
			0	3	4	5	0	12	44.9歳	プロパー職員平均給与(年額)
										0.0千円

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	9	17	20	85%
計画性	8	19	20	95%
組織運営健全性	10	14	20	70%
効率性	11	14	20	70%
財務健全性	9	15	17	88%
合計	47	79	97	81%

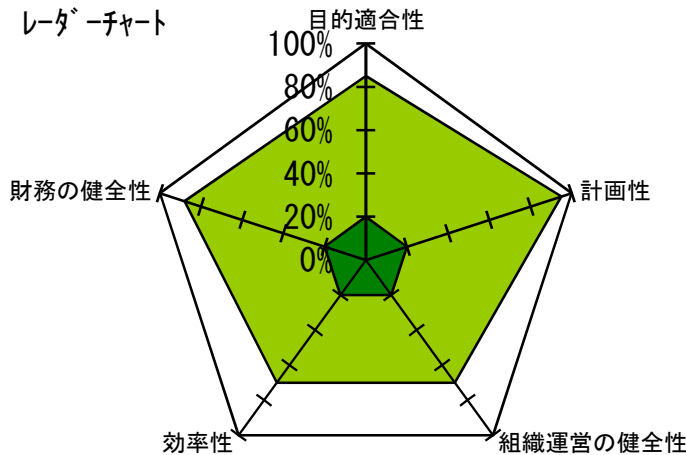
公益財団法人茨城県看護教育財団

警戒指標

《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか

経営評価
レーダーチャート



[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
平成5年4月開校以来、792名の卒業生を輩出し、80パーセント以上が県内で看護師として就業。県西地域への就業率はここ5年間平均では50パーセント以上を占めている。今後も教育体制の更なる充実を図り、卒業生の県内又は県西地域への就業促進を図るとともに、看護職員の研修事業の充実を通じて質の高い看護職員の養成確保に努め、地域の要請に応えていく。	平成21年度の運営改善アクションプラン中間評価等を踏まえて平成22年度入学生から定員を40名に減らし、授業料・施設費の引き上げを実施した。また、社会人入学校の拡大やブログ等での学校PR等を積極的に行い、学生の確保や退学者の減少が図られた。引き続き、運営改善アクションプランの取組を検証し運営改善に反映させる。	各種規程はおおむね規定されており、運営改善に向けた取組みと併せて、職員にその遵守について周知徹底を図っている。	教育体制の充実を図り、教育の質を高める。引き続き、学生の安定的確保、退学生の減少及び学生納付金の適正化により財源確保を図る。	減価償却費が事業費の2割程度を占めるため、正味財産は減少傾向にあるが、借入金や債務超過もなく財務は健全である。 また、役員人件費は最小限に抑制されている。
今後の事業展開の方向	平成5年4月開校以来、792名の卒業生を輩出している。毎年度、卒業生の県内への就職率は80パーセントを超えると同時に、県西地域への就職率はここ5年間平均では50パーセント以上を超えるなど、県内及び県西地域の看護師確保に大いに貢献している。 今後、教育体制の更なる充実を図り、資質の高い看護職員の養成・定着を進め、財団への社会的要請に的確に応えていくため、平成26年度は運営改善アクションプランの取組の評価と見直しを行い、具体的方策を実施していく。			

[法人担当課の意見]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
結城看護専門学校の卒業生は県西地域・県内への高い就業率を維持しており、財団の設立目的に合致した運営がなされている。看護師の養成確保は喫緊の課題であることから、更なる教育体制の充実に努める必要がある。	平成24年度から平成28年度までを計画期間とする運営改善アクションプランに基づき、教育の充実と財団運営の健全化に引き続き取り組む必要がある。	業務に精通する民間病院職員の役員・職員への登用や公認会計士の会計業務への関与など概ね適正な組織運営がなされていると認められる。今後とのコンプライアンス規定等を策定するなど適正な運営に努めることが必要である。	需用費の縮減と施設等の計画的な修繕に努めるなど概ね効率的な運営がなされていると認められる。今後も引き続きコストの抑制や資金運用の定期的な見直しなどに努める必要がある。	定員上限まで学生を確保できていることから、収入を安定して確保している状況である。今後も引き続き財政基盤の強化に努めるとともに、平成26年3月に策定した投資更新計画に基づき計画的な修繕を行っていく必要がある。
<p>法人担当課の意見</p> <p>財団が運営する結城看護専門学校は、平成5年の開校以来県西地域を中心とした本県の地域医療を支える看護職員を多数輩出するなど、その設立目的を概ね達成してきているものと考えられる。</p> <p>近年、少子・高齢化の進行や医療技術の進歩等を背景に看護職員の果たす役割が増す中、その養成確保を担う財団の役割は益々重要となっていることから、今後も引き続き質の高い看護職員の養成確保に力を注いでいく必要がある。</p>				

[経営目標]

区分	指標名	単位	H23実績	H24実績	H25目標値	H25実績	達成度(%)	H26目標値	
経営目標	事業成果	1 国家試験合格率	%	88	95	88	91	100.0%	当該年度の県平均以上
		2 県内就職率	%	85	85.4	80	89.7	100.0%	80
	健全性	1 自主財源率	%	81.8	82.1	70	81.5	100.0%	70
		2							
	効率性	1 需用費の削減	千円	6,836	6,394	6,836	5,586	81.7%	6,836
		2							
平均目標達成度							95.4%		

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
	概ね良好	改善の余地あり	改善措置が必要	大いに改善を要する等	
総合的所見等	<p>平成22年度以降専門学校生を定員相当数まで継続して確保したことにより、看護師養成事業については安定した運営となっている。</p> <p>専門学校の教員については、法人の自立性を高めるため、独自に人材を確保することについて、検討されたい。</p> <p>平成25年度において、施設・設備に18百万円の支出を行っているが、財政状態に配慮した計画的な更新に努められたい。</p> <p>県所管課及び法人は、周辺自治体や地域医療機関と連携し、法人運営の自立化・安定化を模索すべきである。</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>法人運営の自立化・安定化に向けて、学生定員と学生納付金の安定的確保が図れるよう、引き続き、運営改善アクションプラン（平成24年度～平成28年度）に基づき、周辺自治体や医療機関との連携強化による教育環境や学習サポート体制の充実などに努めるよう指導していく。</p> <p>また、専門学校の教員については、平成26年4月からプロパー職員を確保したところであるので、今後とも独自の人材確保に努めるよう指導していく。</p> <p>なお、施設・設備の修繕については、ご指摘のとおり更新投資計画に基づき、引き続き財政状態に配慮した計画的な更新に努めるよう指導していく。</p>				